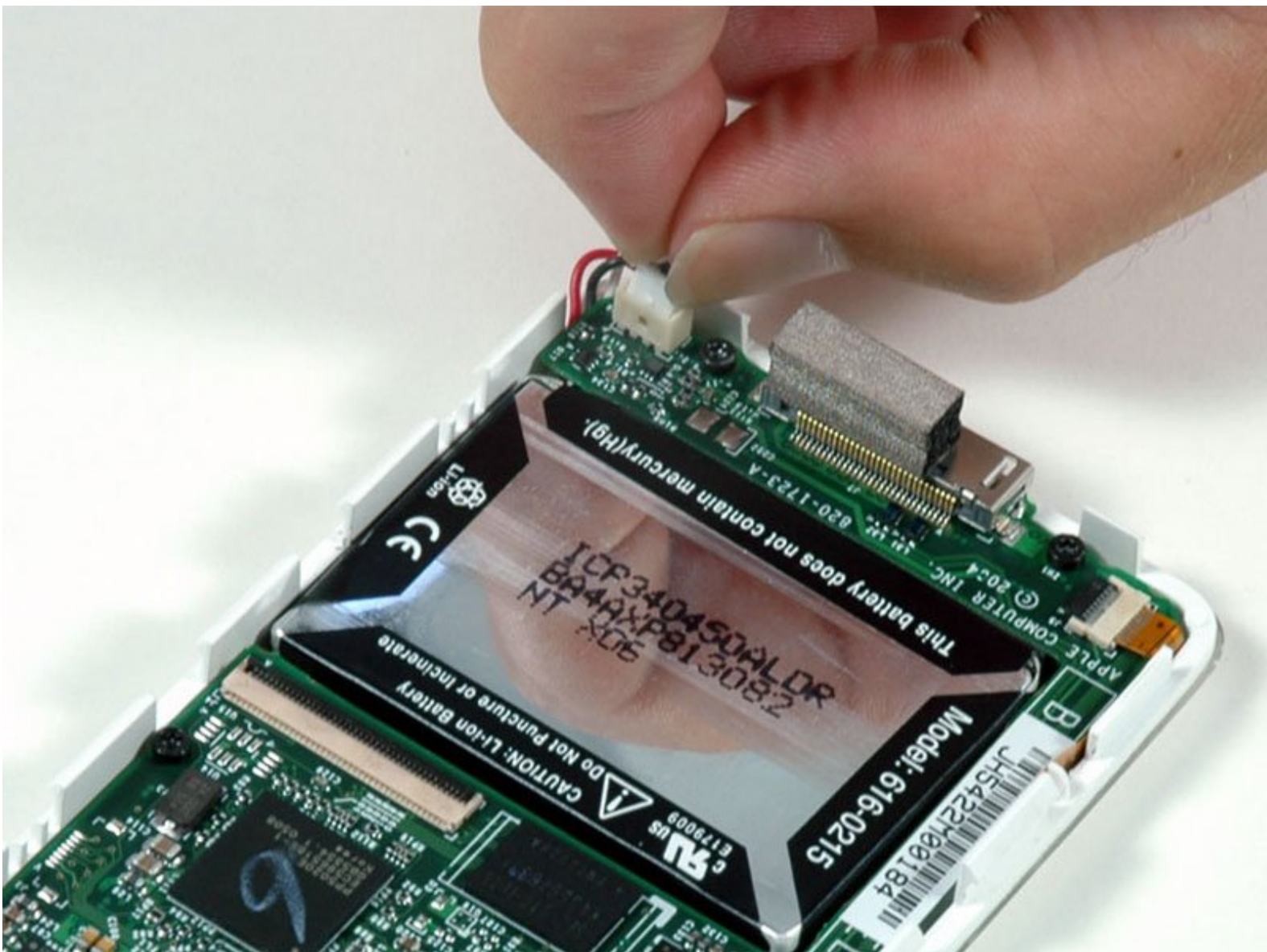




iPod 第4世代またはPhotoのロジックボードの交換

作成者: iRobot



はじめに

iPodのマザーボードは、iPod上のほとんど全てのものをコントロールします。



ツール:

- [iFixit開口ツール](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [T6トルクススクリュードライバー](#) (1)



部品:

- [iPod 4G 20 GB Logic Board](#) (1)
- [iPod 4G 40 GB Logic Board](#) (1)
- [iPod Photo 20 30 GB Logic Board](#) (1)
- [iPod Photo 40 60 GB Logic Board](#) (1)

手順 1 — リアパネル



- ❗ iPodを開口する前に、ホールドスイッチがロックされていることを確認してください。オレンジ色のバーが見えるときは、ホールド中であることを示しています。

手順 2



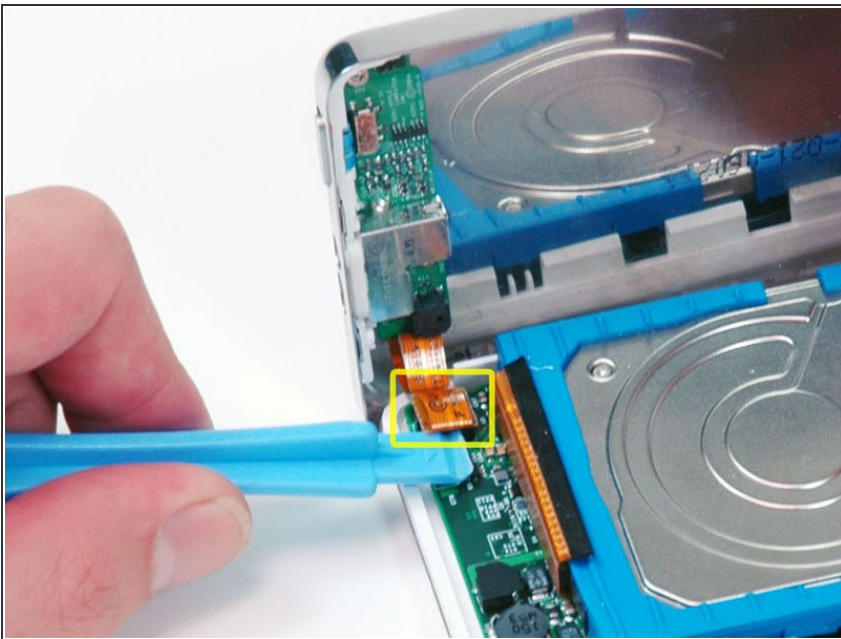
- iPodの右端、プラスチック製フロントパネルとメタル製リアパネルの間の継ぎ目にできるだけ深く開口ピックを差し込みます。
- ❗ ピックを前後に動かす必要があるかもしれません。
- 開口ピックを使って、プラスチック製フロントパネルに対して持ち上げ、5つの固定タブを解放します。
- iPod端に沿ってピックをスライドし、残りの固定タブを解放します。
- 右側沿いの全ての5つのタブが解放されたら、ケースを容易に開口できるはずです。

手順 3



- ❶ これで、iPodケースが開きましたが、2つのコンポーネントはまだ外れていません。ヘッドホンジャックをロジックボードに接続しているオレンジ色のリボンケーブルがあります。
- ドックコネクタ端を上にして、ケースを本のように開口し、iPodのフロントハーフの隣にリアパネルを置きます。

手順 4



- プラスチック製ツールや指の爪を使って、オレンジ色のヘッドホンジャックケーブルの接続を注意深く

外します。ケーブルではなく、コネクタのみをまっすぐ引き上げてください。

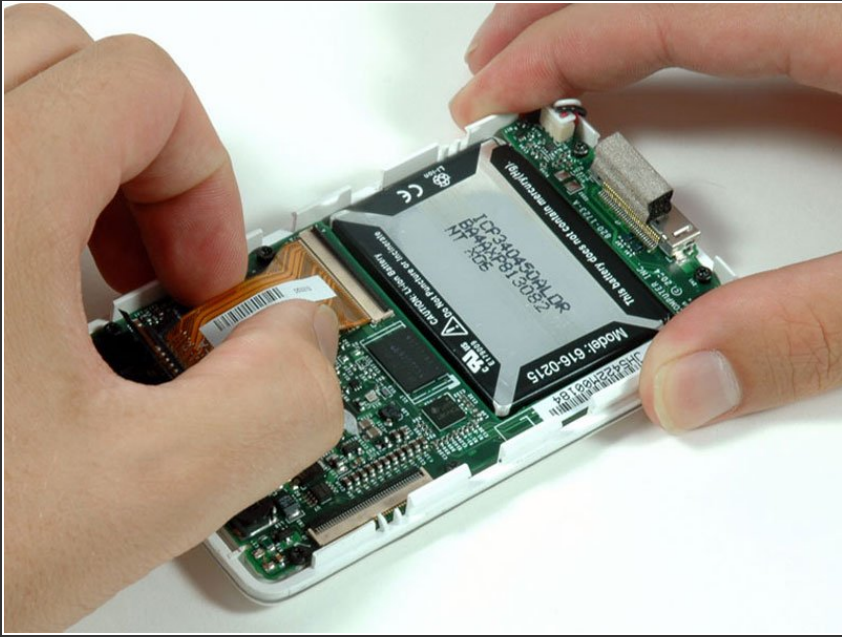
- ① このリボンケーブルはとてもデリケートです。バッテリーを交換する場合は、この手順をスキップして、ヘッドホンジャックをマザーボードに繋いだままの状態にすることができます。リアケースをボックスに衝立てて、テープで固定してください。デリケートなヘッドホンジャックケーブルを圧迫しないようにご注意ください。

手順 5 — ハードドライブ



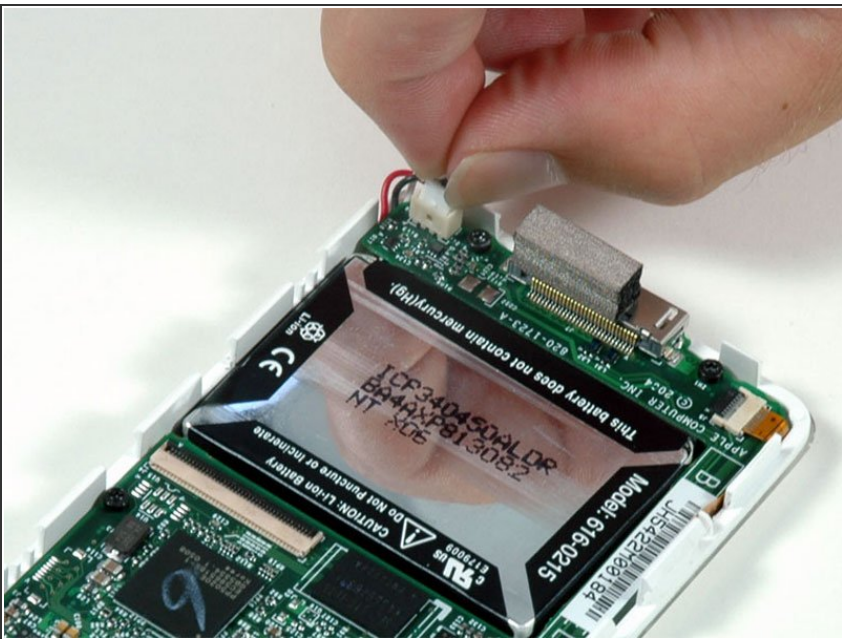
- 片手でハードドライブを掴み、もう片方の手でハードドライブからオレンジ色のリボンケーブルの接続を注意深く外します。
- ① ケーブルの接続が容易に外れないときは、ケーブルを左右に慎重に揺動かすと効果的です。

手順 8



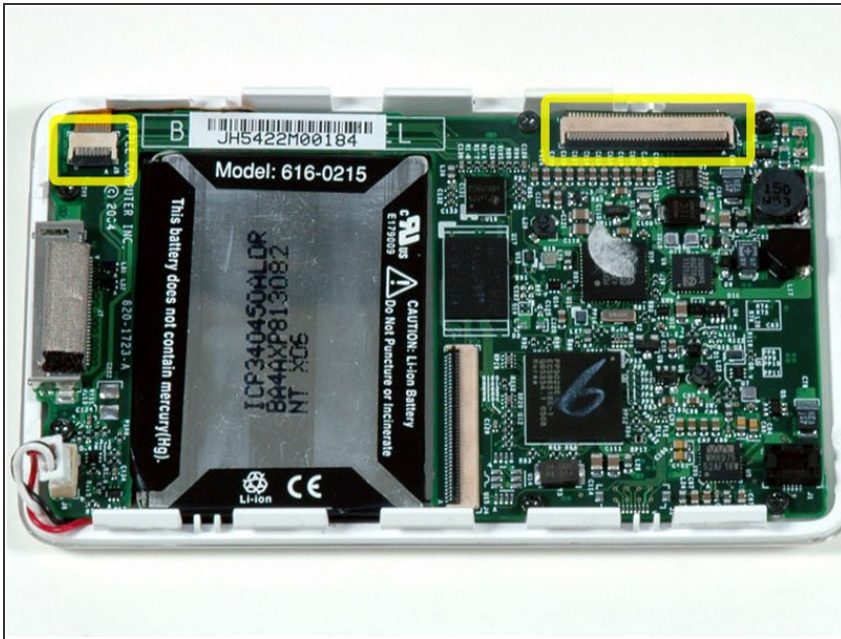
- コネクタからオレンジ色のハードドライブケーブルをまっすぐ引き抜きます。

手順 9 — ロジックボード



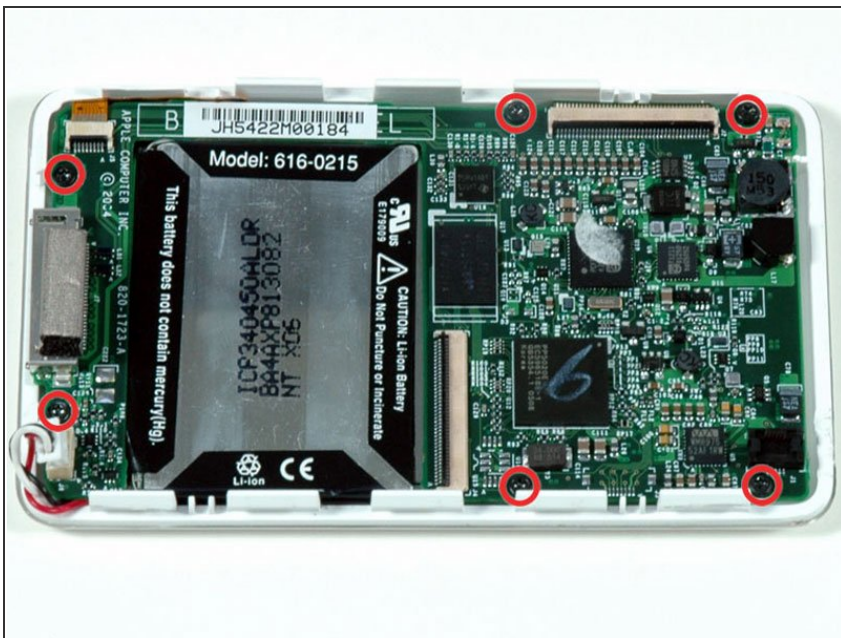
- ロジックボードから白のバッテリーコネクタの接続を注意深く外します。ケーブルではなく、コネクタのみを引っ張ってください。

手順 10



- スパッジャーを使って、ディスプレイとクリックホイールコネクタをロジックボードに固定している黒の固定バーを跳ね上げます。
- ① iPod Photoの場合、ディスプレイコネクタ(画像の右側に示されています)は、ロジックボードのより中央側にあります。

手順 11



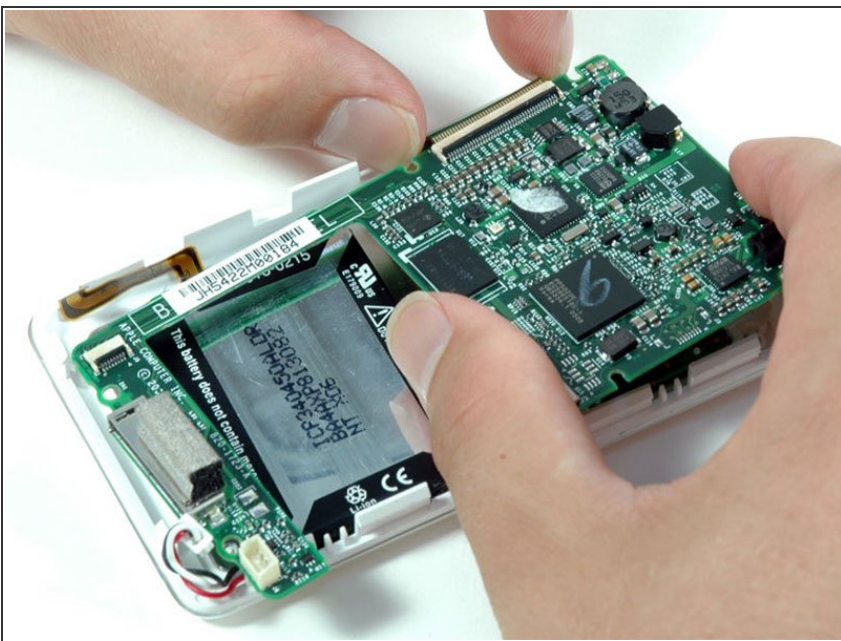
- ロジックボードをフロントパネルに固定している黒のT6トルクスネジを6本外します。
- ① iPod Photoの場合、iPodの右上角にはネジが付いてないため、ネジは合計5本になります。

手順 12



- コネクタからオンレジ色のクリックホイールリボンケーブルをスライドして、取り出します。リボンケーブルをスライドして取り出す前に、このコネクタのロックを解除しなければなりません。ケーブルが装着されている場所の反対側にロッキング機構があります。これは、90度上向きに回転します。プラスチック製スパジャーを使って、ロッキング機構を持ち上げます。

手順 13



- ロジックボードの横幅が長いサイドの先端を注意深く持ち上げ、ディスプレイコネクタの接続を外します。
- iPodからロジックボードを持ち上げます。

デバイスを再度組み立てるには、この説明書の逆の順番で組み立ててください。